

私のすすめるこの1冊

西村 佐彩子（教育学科 講師）

『人生から学ぶ：ひとりの精神分析家になること』

パトリック・ケースメント著；松木邦裕監訳；山田信訳

（第1章 pp.11-12より、…は省略）

…校長先生に対する私の愛情と尊敬にもかかわらず、私は手に負えないままでした。それでまた、最近の悪行に対して「ひどく叱られる」か、あるいはさらに罰を与えられるのだろうと私は予想していました。ところが校長先生は、私に短いお説教をしたのです。

あなたに伝えたいことがあります。職員は皆、あなたにお手上げです。…あなたに責任を取れるだけの能力があるとは誰も思っていない…けれど、私はあなたに賭けてみようと思います。私はあなたに、監督生の責任を担ってもらおうと思っています。どうか私を失望させないで下さい。

私はすっかり驚いてしまったのを覚えています。…私はそのとき、校長先生の信頼に応えられるよう私のできることはなんでもやろうと決心しました。…しばらくの間、私は保護観察中のクライアントや心理療法中の患者たちが、みずからをそれまでと異なる仕方を経験し違った生き方をはじめるのは、私が彼らを気遣い信頼することを通してだと信じていました。これがどれほど真実であっても、この見解の中には見落とされているとても重要なものがあることに気づくには長い時間が必要でした。

この「見落とされている重要なもの」こそが、精神分析という臨床が最も大切にしてきたものであり、そして人と、その心と関わる仕事に携わる上で決して欠かすことのできない視点であると、私は思っています。

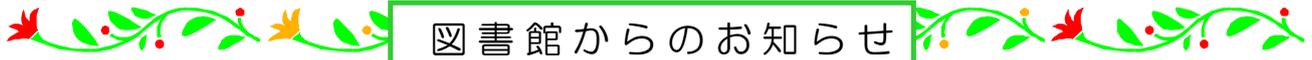
著者であるケースメントは、精神分析の個人開業に長年携わってきた英国の精神分析家です。冒頭の引用は、「厄介な」子どもであった13歳の頃の著者の経験であり、最初の2章には彼自身の人生にまつわる回想が収められており、著者の配慮ある自己開示に支えられた貴重な示唆に満ちています。

ところで、皆さんは「精神分析」という言葉から何を連想されますか？ 心の深層、フロイト、夢分析…もしかすると自分自身の日常や学校現場からはかけ離れた、複雑で難しいものを想像されるかもしれません。本書では精神分析という空間のなかでおこることだけではなく、著者の前職である保護観察官やソーシャルワーカーといった対人援助の仕事を通して得た見解についても書かれています。精神分析が非常に実践的なものであることを知ってもらえるのではと思いますし、教師を目指す皆さんにも役立つところは多いのではないかと思います。たとえば第4章（「いいえ」と言うことを学ぶ）に紹介される事例は、学校現場で出会う問題にも実際的な示唆を与えてくれるでしょう。とはいえ、精神分析に初めて触れると難しい箇所が多いです。知らない用語にはあまり拘らず読めるところまで読んでみて、またいつか思い出したときに立ち戻るといった読み方をしてみてください。

「見落とされている重要なもの」が何なのか、この紹介文のなかで解説はしていません。もし、それが何かに関心をもたれた方がいれば、結論だけを知るのではなく、本書を読んでケースメントの言葉から実際に体験してほしいと思っています。そうでなくても、この先に、子どもたちと関わり向き合い、教師となる営みのなかで、あなた自身の発見とともに、その大切さと困難さに気づいていかれることを願っています。

『人生から学ぶ：
ひとりの精神分析家になること』

パトリック・ケースメント著；松木邦裕監訳；
山田信訳，岩崎学術出版社，2009年
ISBN：9784753309108 購入手続き中



図書館からのお知らせ

附属図書館の増改築工事に伴い、利用者の皆様には大変ご不便をおかけしております。皆様のご理解とご協力の下、ついに今月末にリニューアルオープンいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

仮開館について

3月6日(水)まで、学生課のある建物の2階にて仮開館をしています。
※学外の方もご利用いただけます。

【配置資料】

- ・開架図書（元々南館に配架されていた資料。参考図書・大型図書を含む。）
- ・文庫・新書・新着雑誌・コレクションの森・京都コーナー・就職支援コーナー
- ・教員発刊コーナー・大学発刊コーナー・教科書コーナー・児童書

※貸出方法等は今までと同様です。

増改修工事に伴う臨時休館について

附属図書館の増改修工事に伴い、3月7日(木)～3月27日(水)は臨時休館となります。
休館中の資料の返却は、返却ポストに入れてください（学生課のある建物の1階ロビーにあります）。

重要!

図書館のリニューアルオープンについて

3月28日(木)より、改修を終えた既存の建物を含めてリニューアルオープンします。リニューアルオープン後は、現在の入口（メインストリート側）と工事前の入口（大学会館側）の両方から入れるようになります。ぜひ、新しくなった図書館を見に来てください！
※新しい図書館の紹介は図書館ニュース4月号でも特集する予定です。

書庫の資料について

学生課のある建物の3・4階に電動集密書架を建てる工事がまだ完了していないため、そこに配架する予定の書庫内図書および雑誌バックナンバー（一部を除く）は、秋頃まで利用できません。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、何卒ご了承くださいませようお願いいたします。

なお、2012年6～8月に実施した書庫内図書長期貸出の返却期限日は、個人貸出が3月11日(月)まで、研究室貸出が3月29日(金)までとなっております。休館中の返却については、学生課のある建物の1階ロビーに設置した返却ポストをご利用ください。

第 17 回教科書展について

第 17 回教科書展・中等教育用教科書（技術科編）を、下記のとおり開催いたします。

日程：平成 25 年 3 月 28 日(木)～4 月 30 日(火)

※土日・祝日を除く

※ただし、4 月 13 日（土）は「ふれあい伏見フェスタ」の為、開催いたします。

時間：10:00～16:00

場所：京都教育大学附属図書館 1 階企画展示室

戦後の技術教科書の他、教材・教具なども展示する予定で、さまざまな角度から技術科教育の変遷をたどることができます。ぜひお誘い合わせの上、お越してください。

春季休業に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出をしていますので、ご利用ください。

対 象	院 生 ・ 教 職 員	学 部 生
貸出期間	2013年1月12日(土) ～2013年3月6日(水)	2013年1月28日(月) ～2013年3月6日(水)
貸出冊数	12冊	7冊
返却期限日	2013年4月11日(木)	

※視聴覚資料は除きます。

※長期貸出図書は貸出更新（延長）はできません。一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください。

※一般利用者・卒業生の方の長期貸出はできません。

卒業・修了予定の方へ

1. 貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は 2013 年 3 月 6 日(水)までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことによって、2013 年 3 月 25 日(月)まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

2. 卒業後も図書館を利用される場合

卒業生利用者としてご利用いただけます。卒業後の利用案内および利用証の申請書は 3 月 25 日(月)の卒業式で配布しますので、ご希望の方は図書館にお申込みください。ただし、3 月 7 日(木)～3 月 27 日(水)は増改修工事のため休館していますので、3 月 25～27 日の利用証発行は別の場所で行います。詳細については別途ご案内いたします。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

※2013 年 3 月末に卒業・修了しない方で、貸出中の図書の返却期限日が 3 月 6 日(水)になっている方は、3 月中旬以降、返却期限日を 2013 年 4 月 11 日(木)に変更します。図書館への申出は不要です。

今回の執筆者

榊原典子 (家政科 教授)

小学校家庭科における生活技能をめぐる課題
—日常生活での技能の活用を目指す指導過程 (1) —

平野江美 (宇治市立宇治小学校)・榊原典子
京都教育大学紀要. 2012, No.121, pp.67-81.

日常の生活技能について、どのようにして身につけてきたと思いますか。小さい時からの家庭でのしつけで自然に身についたと思っているのではないのでしょうか。

小学校家庭科では、身近な衣食住など家庭生活で身につける生活技能を取り上げて定着を目指していますが、最近では生活様式が変化し、子どもたちが日常の生活の中でこのような技能を自然に学ぶ機会が減ってきていて、家庭科で学んでも活かせていないのが実状です。この論文では、小学生ならびに大学生の生活技能についての調査をもとに、知識と技能のギャップ、関心・意欲の程度、技能の定着と活用機会について考察をしています。

全国小学校家庭科教育研究会が実施している調査項目に合わせ、本学附属小の5・6年生児童および大学生を対象に、家庭生活と家庭科学習に関するアンケート調査を行いました。家庭科で学習した内容を実際の生活場面で実践しているのは、食生活に関するものが上位を占め(「料理作り(全国調査72.8%、附属児童77.1%、大学生80.9%)」など)、衣生活に関する内容は大学生と児童で有意差があり(「ボタンつけ(全13.6%、附34.3%、大67.8%)」など)、住生活に関する項目では両者ともに低率である(「採光・照明の工夫(全2.1%、附16.0%、大22.9%)」など)ことが明らかとなりました。また「料理作り」や「ミシン縫・ボタンつけ」等の技能は家庭科学習でできるようになったとする割合が高く見られました。一方、家庭科学習での理解面は「とてもわかる・わりとわかる(全78.1%、附75.9%)」と児童の自己評価は高く、知識と技能のギャップがあることが明らかとなりました。小学生の家庭科学習とくに技能を伴う実習は楽しく学ばれているのですが、技能の定着と活用機会は低く、特に時間数をかけて指導している衣生活の製作は課題が多いことがわかりました。

子どもたちの生活技能についての実態を知り、自らの手で作れる喜びや工夫する楽しさを味わわせ、はじめの一步を学ぶ小学校家庭科の意義をあらためて考える機会にしてもらえたらと思います。続く第2報では、関心・意欲をもたせ、活用する力を高めていく衣生活の製作指導について、その工夫のあり方を、授業実践を通して明らかにしましたので、引き続き読んでもらえると幸いです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 121号に掲載されています。

※文中で紹介のあった第2報は、同121号のpp.83-99に掲載されています。

※上記2本の論文は、京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

●開館日程●

休館について

※3月7日～27日:工事のため臨時休館
※3月12日:後期入試

カレンダーの凡例

日付	9:00~21:00
日付	9:00~17:00
日付	休館日
日付	臨時休館日

平成25年 3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					△	×
3	4	5	6	7	8	9
×	△	△	△	*	*	×
10	11	12	13	14	15	16
×	*	*	*	*	*	×
17	18	19	20	21	22	23
×	*	*	×	*	*	×
24	25	26	27	28	29	30
×	*	*	*	△	△	×
31						
×						

平成25年 4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	△	△	△	△	△	×
7	8	9	10	11	12	13
×	△	○	○	○	○	△
14	16	17	18	19	20	20
×	○	○	○	○	○	△
21	22	23	24	25	26	27
×	○	○	○	○	○	△
28	29	30				
×	×	○				

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>



京教図書館 News No.150(2013年3月号)

発行日:平成25年3月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp